

その命を

救いたい

地震、津波、ハリケーン、洪水…。ある日突然、予期せず起こる災害は、一瞬にして人々の生活を変えてしまう。そんな時、被災国や国際機関の要請に応じて、日本から派遣されるのが「国際緊急援助隊（JDR）」。
JDRの前身「国際救急医療チーム」が誕生して30年。今、新たなステージに向かっていている日本の国際緊急援助の姿を追う。

編集協力：甲斐達朗 社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会千里病院千里救命救急センター長 / JDR医療チーム支援委員会委員長



始まりは カンボジア難民支援

2011年3月11日午後2時46分。東北地方を襲ったマグニチュード9.0の大地震と津波は、約2万人の死者・行方不明者を出す大惨事となった。このニュースはあつという間に海を越え、世界各地から救助・医療関係者が被災地へ。懸命に救助活動を行った彼らの姿は、記憶に新しい。

東日本大震災で、支援される側となった日本。しかし同様に、世界各地で発生した災害に対しては、現場の最前線で支援する側として対応してきた。その核となるのが「国際緊急援助隊（JDR…Japan Disaster Relief Team）」。

海外で災害が起こった時に派遣されるエキスパート集団だ。その始まりは1979年、内戦でタイに大量に避難したカンボジア難民の支援にまでさかのぼる。日本政府は全国の医療機関に協力を仰ぎ、緊急支援を行うべく

「即席」の医療チームを結成した。「この時、日本は他の先進国に比べて対応が遅れたと言われていました。そこで、もしもの時に備えて、緊急対応できる医療体制を整えるべきだ」という声が上がったのです」と、社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会千里病院千里救命救急センターの甲斐達朗センター長は話す。そこで、カンボジア難民支援にかかわったメンバーが中心となって政府に働き掛け、82年に「国際救急医療チーム（JMDR）」を設立。84年のエチオピア干ばつを皮切りに、海外の災害現場での日本の医療チームの活動がスタートした。

4つのチーム それぞれの強みを力に

しかし、JMDRの派遣を重ねているうちに、「人命救助や災害対策の専門家など、総合的な緊急支援が必要だと感じられるようになりました」と甲斐センター長。そんな現場からの声を受けて、87年に国際緊急援助隊法（JDR法）が成立。人命救助、医療支援、復旧・復興支援の機能を備えた国際緊急援助隊（JDR）が再編成された。さらに、92年にはJDRが行ってきた難民などに対する人道緊急支援が国際連合平和維持活動（PKO）に移

東日本大震災の
経験を世界へ
国際社会と共に学ぶ
国際緊急援助



© JRCS

2011年3月11日、東北地方を襲った東日本大震災。この戦後最大の災害に対して、日本はどのように対応し、復旧・復興への歩みを進めているのか。今後起こりうる災害に対して、日本は東日本大震災の教訓・経験を世界の緊急援助の改善のために還元していくことが求められている。

そこでJICAは震災後、国際社会との情報共有の場として国内外でセミナーを開いている。その一つが2012年7月5日、日本赤十字看護大学広尾キャンパス(東京都渋谷区)で行われた「国際人道支援セミナー」。JICA、日本赤十字社、国連人道問題調整部の共催で、「東日本大震災の際、国内外の組織と効果的な連携を取ることができたか」「その経験を世界の災害における人道支援にどのように生かしていくのか」などをテーマに、東日本大震災時の国際緊急援助の振り返りと今後の改善点についての議論が行われた。

また、JICAは長年にわたる国際緊急援助隊の派遣事例を通じて、災害時のニーズの把握や情報共有などの活動について発表。国内外の災害に、より効果的に対応していくためには、さまざまなパートナーと連携を深めていくことが重要であるという認識が共有された。



●カンボジア難民支援のため、日本政府が初めて海外に医療チームを派遣。



●メキシコ地震、コロンビア火山噴火にJMTDRを派遣。医療関係者だけでなく、捜索救助、災害対策の専門家を含む総合的な緊急援助体制の必要性への認識が高まった。

1985

●アルメニア地震への派遣をきっかけに、国連人道問題局(現・国連人道問題調整部)を中心とした協調体制が確立。

1979

国際救急医療チーム(JMTDR)の設立。

1982

1987 1988

「国際緊急援助隊の派遣に関する法律(JDR法)」施行。救助チーム、医療チーム、専門家チームの3チーム体制に。

1984

●JMTDRを初めてエチオピア干ばつに派遣。



●「国際平和協力法(PKO協立法)」の成立に伴いJDR法を改正。
●紛争に関係する人道支援は内閣府PKO事務局、自然・人為的災害はJDRが担当することに。また必要に応じて、自衛隊部隊をJDRチームとして派遣することが可能になった。



© Kenshiro Imamura

●スマトラ沖大地震・インド洋津波を受けて、スリランカ、モルディブ、インドネシア、タイの4カ国に救助、医療、専門家、自衛隊の合計14チームを派遣。

2004

●阪神・淡路大震災の発生を受けてJDR医療チーム登録者の派遣をJDR事務局がサポート。

2005

●パキスタン地震では、救助、医療、自衛隊が同一地域で活動。JDR医療チームの活動サイトを日本のNPOに引き継ぐなど、オールジャパン体制での活動を実施。



●湾岸戦争終結後、イラク難民救済のため医療チームを派遣。JDRとして最後の難民救済支援。

2008

●ニュージーランド南島地震に救助チームを派遣。JDR初の先進国への派遣。
●東日本大震災時に国連災害評価調整チームの受け入れに協力。

2011 2012

2010

●ハイチ地震に医療チームを派遣。初めて自衛隊機を活用。
●捜索救助の国際的ネットワーク「INSARAG」※から最高難度の「ヘビー級」に認定される。



© Riho Aihara

国際緊急援助隊の
活動実績 (2012年9月1日現在)

| | |
|------------|------|
| 救助チーム | 17回 |
| (延べ795人) | |
| 医療チーム | 51回 |
| (延べ755人) | |
| 専門家チーム | 40回 |
| (延べ335人) | |
| 自衛隊部隊 | 12回 |
| (延べ3,567人) | |
| 緊急援助物資供与 | 434回 |

※自衛隊部隊の派遣人数は「平成24年版防衛白書」より。

に後方支援を行っている。
また日ごろから訓練・研修を通じて、次の派遣に向けてチームごとにスキルアップを図っている。救助チームは2010年、捜索救助の国際的ネットワーク「INSARAG」※から最高難度の「ヘビー級」に認定されたほか、医療チームは、診療テントの中で手術もできるよう、クリニックからホスピタルへの機能拡大を図っているところだ。
さらにJICAは災害多発国・日本の知見を生かし、被災地の復旧・復興を見据えた中長期的な支援を進めている。JICA国際緊急援助隊事務局の中村明事務局長は「国際緊急援助は、災害発生直後の支援だけではなくありません。その後も被災者として暮らす人々の生活はずっと続いていくわけですから、緊急支援から復旧・復興につながる、シームレスな(継ぎ目のない)協力に取り組んでいくことが重要」と話す。その例としてJICAは、2010年のハイチ地震では、医療チーム派遣後から国の復興計画の策定や被災地のインフラ整備に、2011年のタイの洪水では氾らんした河川の洪水対策に取り組んでいる。「JDRの使命は、一人でも多くの人の命を助け、社会に復帰してもらうこと。そして、災害に負けない、強い社会をつくるため」に、JICAは支援を続けていきます」と中村事務局長は話す。
JDRを待っている人たちがいる。その人たちの命を救うべく、いち早く現場に向かい活動を行うことは、日本国民を代表した国際緊急援助隊の使命でもある。

管され、JDRは自然・人為的災害に特化するようになった。
現在JDRは、警察庁、総務省消防庁、海上保安庁が合同で人命救助を行う「救助チーム」、医師、看護師、薬剤師、放射線技師などが医療支援を行う「医療チーム」、技術者、研究者などが応急対策や復旧活動を指導する「専門家チーム」、大規模な緊急援助活動や輸送活動を行う「自衛隊部隊」の4チームから構成されている。災害発生後、被災国や国際機関からの要請を受けて日本政府がJDRの派遣を決定。救助チームは派遣決定から24時間以内、医療チームは48時間以内に出国する。
また、被災地の救援、復旧活動の一環として、テントや毛布、浄水器などを送る「緊急援助物資供与」もJDRの活動の一つだ。フランクフルト、シンガポール、マイアミの備蓄倉庫、WFP(国連世界食糧計画)が所有する5カ所の倉庫から、迅速かつ的確に物資が提供されるよう体制を整えている。
シームレスな協力に取り組むJICA
こういったJDRの活動を取り仕切っているのがJICA。東京のJICA本部には「国際緊急援助隊事務局」が設置されており、JDRの派遣決定後、直ちに関係者に連絡を取り、メンバーの選定から資機材の準備、渡航手続き、活動サイトの選定まで一連の作業を担う。また、現地にも業務調整員としてJICAのスタッフが同行し、隊員たちが全力で活動できるよう

※国際捜索・救助諮問グループ(International Search and Rescue Advisory Group)。国連傘下の捜索救助チームの国際ネットワークで、2005年からIEC(INSARAG External Classification)と呼ばれる各国の救助チームの実力を測る評価基準(Heavy、Medium、Lightの三段階)を設けている。